



国民の森林・国有林

# 森林ふれあい情報

平成21年6月

第11号

中部森林管理局木曽森林環境保全ふれあいセンター

〒399-0001 長野県木曽郡木曽町福島5471-1

TEL: 0264(22)2122 FAX: 0264(21)3151

E-mail: kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

## 木曽青峰高校2年生 就業体験研修を実施

「新聞で森林官の記事を読み、是非、自分も森林官になりたいと思った。」等の動機で、平成21年度に実施する国家公務員 種(林業)の受験を希望する、木曽青峰高校森林環境科2年生3名の就業体験研修を3月12日から18日までの間で4日実施しました。



座学の様子

内容については、国有林の仕事全般の座学から始まり、城山史跡の森での修景除伐、コウヤマキ天然更新箇所のプロット調査、ふれあいセンター敷地内でのコンパス測量、城山史跡の森の歩道点検、治山工事箇所及び土場視察、木工クラフトと短期間ではありましたが多岐にわたり体験をしてもらいました。

殆どの内容が初めての体験で、特に、まだ積雪のある寒い中でのプロット調査には苦勞していた様子ですが、今回就業体験をして、更に受験の意欲を増したようでした。



コンパス測量の様子

## 間伐体験指導方法 検討会を実施

木曽森林管理署及び木曽森林環境保全ふれあいセンターでは、毎年、学生やボランティア団体等による間伐作業の指導を実施しています。

今年度についても何回かの間伐作業が予定されていますが、指導する職員が安全対策や指導方法等について、作業する者に誰もが同じ指導ができるようにと、4月21日、長野県上松町にある赤沢自然休養林の体験間伐区域内において、指導職員を対象に間伐体験指導方法検討会を実施しました。

人事異動等で今年度初めて間伐を指導する職員はもちろん、ベテランの職員も伐倒方向の決定、伐倒木周囲の確認、伐倒方法、かかり木の処理等参加者が安全に間伐作業を行えるよう真剣に指導手法を学びました。



かかり木処理の検討

## 犬山中学校体験林業を実施

5月12日、赤沢自然休養林において愛知県犬山市立犬山中学校の2年生総勢249名が参加して体験林業等が行われました。

犬山中学校では、「赤沢自然休養林の意義を理解し、自然を守り育てる心を育むとともに、日本の豊かな自然に触れる。また、自然を守り育てる仕事に従事している方の考えに触れる。」ことを目的として、毎年2年生を対象に体験林業等の活動を行っています。

当日はアスナロ除伐グループ、遊歩道グループ及

び自然散策グループの3グループに分かれ、木曾森林管理署及び木曾森林環境保全ふれあいセンターでは主にアスナ口除伐を指導しました。

休養林到着後、各グループごとに森林鉄道に乗車してから、作業内容の説明、安全指導を行い更に班に分かれ除伐箇所へ向かいました。

鋸を使うのは初めてで苦勞をしている生徒もいましたが、除伐作業に汗を流し、作業前と後の林内の様子を見て自分たちの行った作業に対し満足した様子でした。



除伐作業の様子

## 木曾青峰高校1年生 体験学習を実施

毎年恒例となっている、木曾青峰高校1年生を対象に、赤沢自然休養林見学及び体験林業が、「木曾青峰高校で学ぶ生徒として、地域の遺産である木曾ひのき天然林を知り、地域の遺産を生かすためのボランティア体験学習を行うことで地域貢献の意義を学習する。」ことを目的として、5月29日に教職員も含め232名が参加して行われました。



木曾五木の見分け方を学ぶ

232名を12班に分け、午前中は1班から6班までが木曾森林管理署、木曾森林環境保全ふれあいセンターの職員がインストラクターとなって、普段

は立ち入ることのできない屈指の木曾ヒノキ美林である「千本立」や「奥千本」を体感しました。また、7班から12班は木曾森林管理署の職員の指導のもと、チップ舗装に汗を流しました。午後からは交替して見学、体験林業を行いました。

2時間あまりの林内歩行と、慣れない作業で疲れた顔つきでしたが、これから学業を進める上で貴重な1日になることを期待します。

## 「城山史跡の森」の 遊歩道等整備を実施

木曾町福島市街地に隣接する城山国有林は、福島城跡、権現滝などの見所を擁し、観光客や地域住民が森林浴や自然探索を楽しむことができる、「城山史跡の森」と呼ばれ、気軽に利用されています。

地域住民で構成する『城山史跡の森倶楽部』が、森林管理署と森林整備等の活動に関する協定を結び、遊歩道や案内看板の整備や森林整備などを行っています。

今年度も行楽シーズン前の4月4日、会員及び地域住民・企業のボランティア、町関係者など20名が参加し、第一回目の遊歩道等整備を行いました。当センターでは、道具類の貸出し、作業従事者への安全指導など活動の支援を続けています。

今回の整備は、4班に分かれ、遊歩道、林道上の崩落土等の整地、枯れ木や風倒木など危険木の処理を主体に作業しました。

この「城山史跡の森」では、今年度、同倶楽部主催の自然観察会、探鳥会、ハイキングやJR（木曾福島駅）主催のウォーキングなどのイベントも計画され、例年8,000人程の入り込みがあり、訪れる方が安全に通行できるよう願いながら皆さん真剣に作業していました。



歩道整備の様子